

大地のめぐみを未来へつなぐ

JAIわて平泉 広報誌

KOSHERU



こしえる

2026. **5** 阜月 No.147



特集 **組合員の声を反映しJA事業の充実へ**
～令和8年度春期組合員座談会意見集約～

組合員の声を反映しJA事業の充実へ ～令和8年度春期組合員座談会意見集約～

JAは3月16日から26日まで、管内13会場で春期組合員座談会を開きました。役員や幹部職員が地域へ出向く座談会は、組合員の声を聴く大切な場として位置づけており、広く組合員の声を聴き、JA事業の充実を図っております。

座談会では、令和7年度の事業実践経過や令和8年度事業計画の素案、第4次中期経営計画最終年度の振り返り、第5次中期経営計画の素案、JA自己改革工程表について説明しました。

今回は、座談会で寄せられた主な質問や意見・要望を抜粋し、JAの考え方や取り組みを紹介します。



Q 鳥獣の被害が多くなっており、このままでは

A 令和8年産米の価格は、JA管内の生産費等もありますが、食料システム法により1畝当たりにかかる生産費に基づいて価格が決まってくると考えています。新聞等では玄米60^キにかかる生産コストは2万437円（令和8年3月時点）と出ており、これが基準になれば、1袋（30^キ）当たり1万円を下ることがないと期待しています。価格については、今後協議してまいります。

Q 令和8年産の米の価格は、JAとしての程度を予想しているのか。米1俵作るのにどのくらい経費がかかっているのか把握していると思うが、それを考慮して米の値段を考えていただきたい。令和7年産米はあまりにも高かった。高過ぎても売れないと思う。

A 令和8年産米の価格は、JA管内の生産費等もありますが、食料システム法により1畝当たりにかかる生産費に基づいて価格が決まってくると考えています。新聞等では玄米60^キにかかる生産コストは2万437円（令和8年3月時点）と出ており、これが基準になれば、1袋（30^キ）当たり1万円を下ることがないと期待しています。価格については、今後協議してまいります。

◎営農・畜産部門関連

座談会での主な質問・要望

Q 令和7年産米の概算金価格は非常に高かった。輝倉庫には今在庫があると思うが、販売先は決まっているのか。

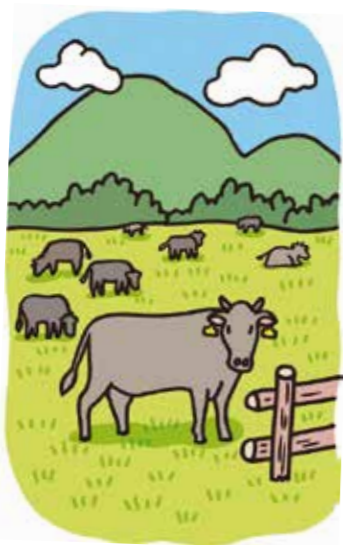
A 輝倉庫の米の在庫は、JA全農の他、独自販売についても各相手先とすでに契約を結んでおります。

安心して営農できないうえ、離農者も増えてしまふ。JAは全国組織であり、国や行政に働きかけてほしい。

A 鳥獣被害はこの地域だけの問題ではありません。電気柵はある程度の効果がありますが、問題解決にはなりません。県内各JAとも一致して要請を行っている他、国会議員と話す機会では、国や行政の施策や予算が必要なることを伝えてまいります。

Q 一関育成牧場を閉鎖した後は、室根高原牧野が受け入れを担うと思われるが、要員数や採草地、放牧地などは十分なのか。

A 現状では、7人を配置しています。採草時期は増員し対応してまいります。



Q Jークレジットについては、主に法人が取り組んでいると聞いているが、個人の取り組み状況を教えてほしい。

A Jークレジットの取り組みは個人が多いです。中干した日数を記録し、入力や報告は全てスマー

一歩星★
Kid's



だいすきなひと

弟の耀くん(3)。かくれんぼやかるたで仲良く遊んでいます。



なかよし Kid's

岩瀬 花音 ちゃん(6)
花泉小学校1年

国語で漢字の書き取りを頑張りたい花音ちゃん。大きくなったら、幼稚園の先生になるのが夢です。

すがわらののか
菅原 望禾 ちゃん(6)
赤荻小学校1年

国語でひらがなを上手に書けるようになりたい望禾ちゃん。大きくなったらケーキ屋さんになるのが夢です。

特集

組合員の声を反映しJA事業の充実へ
～令和8年度春期組合員座談会意見集約～

3

エリアニュース

「野菜産地振興へ向け連携」他

6

こしえるびと

「げいびりんご生産組合（東山町長坂）」他

8

営農セレクト

「新規就農ワンストップ相談窓口開設中」他

10

INFORMATION ほこりLINE

「職員募集のお知らせ」他

12

・移動金融店舗車

『このみん号』運行スケジュール

13

発信情報からぞ

・あぐりジャーナル 他

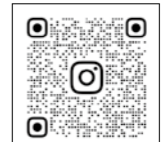
14

もぐもぐ

お米栽培の一年
～田おこし、代かき、田植え～

16

FMあすも JA番組「そ〜じゃ*い〜じゃ」
毎週金曜日 お昼12時40分〜絶賛放送中!



マイナビ2027

マイナビでエントリー受付中

JAいわて平泉の採用情報です。気軽にご覧ください。



トフォンで行い、書面ではできません。令和6年度は83件の申請があり、32件が該当しました。令和7年度は取組者が増え、現在審査中です。取り組みを希望する方は、米穀課または営農経済センターにご相談ください。

Q 土壌診断をして生産コスト削減を図るとのことだが、診断結果により不足する成分のみを単肥で散布するとかえって生産コストが上がるのではないかと。また、水田100圃場を診断するにあたり、診断結果に基づいた営農指導がなければならぬ。ただ土壌診断をただで終わらせないようにしてほしい。



A 適量以上に肥料を入れている生産者もおり、土壌診断により肥料を減らすことが可能であるなどの指導につながります。診断箇所を各営農経済センターで抽出し、コスト削減の観点から土壌診断を実施していきます。

Q 園芸のハウスリース事業について、1カ所検討している先とはどこか。頑張ってみようと考えている先とはどこか。

A 委託により、職員の人員不足と配送員の高齢化に対する懸念を解消することができると考えています。また、農協法に基づき行っている農家配送に対し、運送業法に抵触することがないよう法令遵守を図ります。

Q 肥料の予約注文価格と実際の供給価格が著しく違っていたが、資料にはその点について何も掲載されていない。供給後、肥料価格が高くなったと説明されたが、販売方法に問題があるのではないか。

A 予約注文価格は例年通り概算価格で提示しています。これは、大きな変化はありませんでしたが、船運賃や為替など市場情勢で変動することを理解いただきたいと思います。



ている若手がいるが、自宅から遠いなど理由があれば、希望する人はいないのではないか。

A 平泉地区で検討している場所があります。資材価格の高騰により、ハウスやかん水装置、貯水施設などを含めた建設費用は約1億円で、補助金を利用しても費用負担は約5000万円、返済期間も10～15年となるため、品目も吟味する必要があります。新規就農者には、遊休施設の活用を案内しています。

◎信用・共済部門関連

Q 支店での待ち時間が1時間以上となる場合がある。支店ごとの平均来客数が知りたい。

A 1日の平均来客数は、基幹支店で約100～200人、コミュニティ支店で約50人となっております。

Q 昼時間に支店を利用したい人に対して、職員が交代しながら対応できないか。

A 窓口休業時間があるのは、コミュニティ支店の東山・藤沢・平泉支店の3店舗です。必要最



◎経営・総務・管理部門関連

Q 組合員割引や特別価格を設定してほしい。正・准組合員のメリットを教えてください。

A 令和7年度から、正組合員の方で、一日人間ドックの脳MRIオプションと専門ドックの受診者に助成金を出しています。購買事業でもメリットを検討していますが、物価上昇により値下げができない状況です。今後も、JAへの加入メリットを検討し、示していきたいと考えています。

Q 新しく組合員になった若手の人や大きく農業をしていない人などは常勤役員と対話する機会がない。後継者と役員が対話できる機会を設けて、組合員教育などの指導をしていただけないか。

A 親から組合員資格を引き継いだ方などへの組合員教育の機会の設置について検討したいと思えます。



Q 一斉訪問は組合員全戸を回ったのか。職員は年に2回ぐらいは来て、顔を見せた方がいいのではないかと。ますます組合員離れになる。

低限の職員を配置しているため、休業時間を設けています。銀行でも取り入れているところもあります。基幹支店は営業しているため、そちらをご利用いただけますようお願いいたします。



◎経済部門関連

Q 農業が足りなくなり、午後5時を過ぎてから営農経済センターへ購入しに行ったが、営業時間外で機械が閉まっていたため、対応してもらえなかった。手書きでもいいから販売してもらえないのか。また、土日の営業はしていないのか。

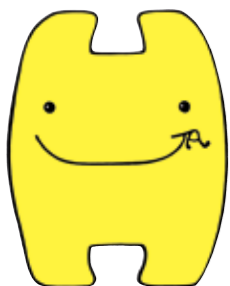
A 土曜日は年間を通じて午前中営業しています。4月～5月は日曜日も営業しています。誤入力防止のため、手書き伝票は使用を制限しています。

Q 生産資材の配送体制をJA配送からJA全農

A 以前は組合員全戸を回っていましたが、正職員が減少しており、平均一人100戸の訪問となるため、現在は各農家組合2戸の訪問としています。

◎その他の主な意見・要望

- ・こしえるに掲載されている理事のコメントを読んでいるが、力強いコメントに勇気づけられている。後継者不足や燃料費の高騰など厳しい農業情勢に一致団結して立ち向かってほしい。
- ・食料品に対して消費税が課税されない方向だが、生産資材に対しては消費税がかかる。JAとして、農政活動についてもっと働きかけてほしい。
- ・JAが各地区を回って座談会を行うことは大変良いことだと思うので、「いつもと同じだった」とならないよう、魅力のある話や商品説明など身になる話をしてほしい。
- ・米出荷の申し込みをスマホで送るシステムにしてほしい。
- ・園芸の記録簿をデータで管理しているが、紙媒体で提出しなくてはならない。データで提出ができるようにしてほしい。



環境に配慮した農業に取り組む生産者を認定する「みどり認定」で、JAがグループ認定を受けました。米を生産する564経営体が対象で、稲刈り後の圃場を耕し、稲株などを土にすき込む秋耕により温室効果ガスの削減に取り組み、有利販売につながります。

3/31

環境に優しい農業を実施



一関農林振興センターの吉田正博所長から認定証を受け取る佐藤一則組合長

3/13

野菜産地振興へ向け連携

野菜品目の9部会が一体となり、産地振興に取り組むJA野菜協議会を設立しました。設立総会では、生産力強化や産地の維持発展、販売力強化など基本事業方針と、販売金額17億1998万円を目指すことを決定し、会長に村上真さんを選出しました。



議案を審議する参加者



後藤次長の説明に注目する部員

4/10

家庭菜園のポイント理解

JA女性部川崎中央支部

第1回畑の講習会を開き、JA営農部の後藤忠行次長から、ジャガイモの植え付けやニンジンなどの種まき、栽培管理を学びました。全14回にわたり講習会を行う予定で、8品目を栽培し、収穫した野菜は料理講習会で使う他、「川の駅子ども食堂」に提供されます。



キュウリを見ながら管理作業を確認する生産者

4/10

生育状況に応じた管理を

JAきゅうり部会

促成キュウリ巡回指導会を行いました。ハウス2カ所を巡回し、生育状況や天候に応じて適切に温度管理をすることや、摘芯や摘葉作業は樹勢などの状況を見ながら、遅れずに行うことを確認しました。JA管内のキュウリ出荷は、4月中旬から始まっています。



最優秀賞の表彰を受ける(農)ファーム小梨

3/19

ブランド力の向上を誓う

JA花き部会

第12回通常総会を開きました。令和8年度はいわて平泉ブランドをより大々的に打ち出し販路拡大につなげ、品質の高位平準化を図り、販売金額2億8200万円を目指します。任期満了に伴う役員改選では、小岩保寛さんを部会長に選出しました。



一関市教育委員会の時枝直樹教育長へ手渡す那須元一専務

4/3

食を支える農業に理解を

JAバンク副読本「農業とわたしたちの暮らし」と、岩手県農協青年組織協議会とJA岩手県信連が作成した「いわてアグリBOOK」を一関市と平泉町の教育委員会へ寄贈しました。管内の小中学校で、食農教育や地域農業へ理解を深めるために役立てられます。



種もみへ水やりをする児童

4/10

上手に種まきできたかな

滝沢小学校(一関)

5年生23人は、JA一関青年部真滝支部の指導で、ひとめぼれの種まき作業を体験しました。苗箱に土を入れ、均一に種もみをまき、水やり、土をかぶせる作業をグループごとに分かれて体験。田植えに向け、立派な苗に育つよう期待を膨らませました。



今後の管理について説明を聴く部会員

4/13

アブラムシの発生に注意

JAなす部会

トンネルなす定植指導会を佐藤文己さん(花泉)の圃場で開き、圃場準備や定植後の管理作業などを確認しました。一関農業改良普及センターの西張勝太技師が、高温によるアブラムシの発生を報告し、病害虫の早期発見と初期防除に努めるよう呼び掛けました。



委嘱状を受け取る生活シーダーの菊池悦子さん

4/9

特技や趣味で地域活性化

JA生活シーダー委嘱状交付式を行い、24人を生活シーダーとして委嘱しました。2年間の任期中、料理や手芸などの特技や趣味、専門知識を生かし、女性部や農家組合、任意団体の講習会で講師を務め、地域活動のアドバイザーとして、地域の活性化を目指します。



千葉勝博校長にお守りを贈る部員

4/3

事故なく健康に過ごして

JA女性部花泉中央支部

花泉小学校に入学した子どもたちが事故なく元気に学校生活を送れるように願いを込めて、古代米のわらで手作りした亀のお守り59個を同校に届けました。佐々木若子支部長は「毎日健康に過ごして、事故に遭わずに学校に通ってほしい」と願いました。

こしえるびと

つむぐストーリー vol.135

高い志のもと、日々“キラリ”と光る活動をしている人たちがいる。
“黄金の郷”いわて平泉を支える、魅力溢れる“こしえるびと”の
メッセージをシリーズで紹介していく。

東山のリンゴ園

透き通るような晴天の下、春風に枝が揺れるリンゴ園。開花を待つ園地の中で、にぎやかに談笑する人々の姿がある。

げいびりんご生産組合は、長坂地区にある7畝の園地で、ふじやシナノゴールドなど9品種のリンゴを生産している。また、3種類のリンゴジュースの製造、販売も手掛け、地元産リンゴの魅力を発信している。現在は社員2人、パート5人が中心となり作業に励む。

喜ばれる商品作りへ

「品質と収穫量を上げるために何ができるかを常に考えている」と話すアシスタントマネージャーの及川久恵さん。JA果樹部会の先輩農家やJA園芸課の担当者などに助言を求め、日々の作業に反映させている。近年の課題であ

る温暖化と有害鳥獣の対策についても勉強を重ねる。

生産組合ではジュース作りにも力を入れる。及川さんが入社当時、商品は1種類だけだったが、「付加価値を高め、女性や家族がいる人が手に取りたいものにできないか」と考え、ふじのみのジュースなど新たに2種類を開発。さらにラベルを地元ゆかりのある若手デザイナーに依頼し、かわいらしい女の子と家族をあしらった目を引くデザインにした。新商品は道の駅やECサイトでも販売している他、海外の方にも手に取ってもらえるようになった。及川さんは「お客さまに喜んでもらえるのがうれしい」と笑顔で反響を喜んで

つながりやを大事に成長したい

生産組合では、若者らが一定期間就

労、就農体験をしながら地域住民と交流する「ふるさとワーキングホリデー事業」や、子どもたちの農作業体験を積極的に受け入れている。ワーキングホリデーで訪れる人は、自分たちと全く異なる生い立ちや考え方などを持って

いることが多く、コミュニケーションをとることで互いに刺激になっている。子どもたちの農作業体験を歓迎するのは「大人になったときに『げいびのリンゴはおいしかったな』と思い出してもらいたい」という願いから。人とのつながりと、故郷を愛する気持ちを大切にしている。

今後は、さらに生産技術を高め商品やリンゴ園の魅力を広げていきたいと考えている。「一関のリンゴを多くの人に知ってほしい」と意気込む及川さん。産地の拡大と発展を夢見て、一致団結して歩みを進める。

一関のリンゴの魅力を広めたい

東山町長坂 げいびりんご生産組合

げいびりんご生産組合

PROFILE

東山町長坂地区でリンゴ園を営む農事組合法人。リンゴ生産やリンゴジュースの製造、販売を手掛ける。シルバー人材やふるさとワーキングホリデー制度参加者、子どもの農業体験の受け入れにも積極的に取り組んでいる。

生産資材ひろば



熱中症対策の準備を始めましょう

農作業中の熱中症事故の多くは1人で作業している時に発生しています。少しでもおかしいと思ったら、無理せず休むことが重要です。

めまい、立ちくらみ、手足がつる、こむら返りなどの症状が出たら涼しい環境へ避難しましょう。服をゆるめて風通しを良くしたり、水をかけるなどして体を冷やしましょう。喉が渇いていなくても水分・塩分の補給をしましょう。早朝や夕方の涼しい時間帯に作業するなど気温の高い時間帯の作業を避けましょう。



●対策グッズを活用しましょう

JAでは「日除け帽子」などの他、「ファン付きウェア」や「冷却ベスト」なども取り扱っています。詳しくは各資材店舗窓口にご相談ください。



保冷剤用ポケットも付いています

電動ファンが両サイドに付いています

ファン付きウェア



田植え後の管理

○こまめな水管理を

田植え後、苗が活着するまでは、植え傷みにより根の呼吸能力が低下しています。その影響を軽減するとともに、活着を促し除草剤の効果を高めるため、深水で管理しましょう。活着後は水温および地温の上昇と分けつ促進のため、好天の時には2〜3割の浅水に、気温が15℃以下となる低温や、強風の時には深水にするなど、こまめな水管理に努めましょう。

○取り置き苗は早期に処分

取り置き苗は、いもち病菌の発生源となります。田植え後、植え直しが済んだら、取り置き苗は直ちに処分しましょう。いもち病菌を葉に感染させないことが、穂いもちを防ぐポイントです。

○カメムシ防除のために草刈りを行いましょ

カメムシの成虫は年2〜3回発生します。6月上旬の草刈りはカメムシの1回目の発生量を抑制し、その後の発生量も少なくする効果があります。地域で一斉に行うとより効果的です。計画的に実施しましょう。

※注意

農薬使用時はラベルをよく読み、散布量や希釈倍率を間違えないように注意しましょう。



営農TOPICS

新規就農ワンストップ相談窓口開設中

一関地方農林業振興協議会では、「新規就農ワンストップ相談窓口」を開設しています。一関市、平泉町で本格的に農業を始めたい意欲ある方のご相談をお待ちしています。

窓口開設日 毎月第2水曜日 午後1時30分〜

開設日				場所
令和8年	6月10日		11月11日	一関市役所川崎支所 2階多目的室 (一関市川崎町薄衣字諏訪前137)
	7月8日		12月9日	
	(※)8月5日	令和9年	1月13日	
	9月9日		2月10日	
	10月14日		3月10日	

(※)第1水曜日

相談希望日の5日前までに、下記のいずれかに電話でご連絡ください。

相談時間は1人あたり1時間程度です。

リモートでの相談も可能です。予約時にお申し出ください。

お問い合わせ

- 一関地方農林業振興協議会 事務局：一関農業改良普及センター ☎ 52-4961
- 一関市農林部農政推進課 および各支所産業建設課 ☎ 21-8225
- 一関農林振興センター ☎ 26-1413
- 平泉町農林振興課 ☎ 46-5564
- JA営農振興課 ☎ 34-4001

和牛枝肉販売実績 令和8年4月

格付	雌			去勢			上物率 (格付4等級以上)
	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	枝重(kg)	単価(円)	販売額(円)	
JAいわて平泉販売分 5等級	435	2,705	1,176,675	532	2,516	1,338,512	100.0%
4等級	-	-	-	558	2,294	1,280,052	
3等級	-	-	-	-	-	-	

販売頭数 24頭 ※4月21日までの実績です

※枝重、単価、販売額は平均値

出荷月間最高販売牛血統紹介

- 雌の部**
勝乃幸×美国桜×百合茂
A5 452kg 3,092円
- 去勢の部**
福之姫×菊福秀×安福久
A5 621kg 2,577円

県南子牛市場 令和8年4月14日

※単位：円 (ただし高値・安値は千円) 税込みです。

支部	雌				去勢				合計		
	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	高値	安値	平均価格	頭数	平均価格	前回比(%)
一関	14	840	677	751,771	12	1,022	801	908,417	26	824,069	105.0%
花泉	25	877	629	773,256	26	1,055	792	940,204	51	858,367	102.8%
平泉	-	-	-	-	1	876	876	875,600	1	875,600	117.5%
千厩	18	1,327	635	785,644	18	1,024	728	931,639	36	858,642	110.0%
藤沢	3	862	681	773,667	3	897	873	888,800	6	831,233	107.3%
大東	13	816	498	729,808	18	1,163	609	943,250	31	853,742	102.9%
東山	6	1,023	581	778,250	6	941	773	867,900	12	823,075	100.4%
室根	14	858	627	792,864	13	1,037	772	929,331	27	858,570	101.6%
川崎	2	805	767	785,950	6	1,102	857	968,917	8	923,175	112.2%
合計・平均	95	1,327	498	769,977	103	1,163	609	929,500	198	852,961	104.5%

4月市場
最高販売額の血統構成
雌 父：福之姫
母の父：安福久
祖母の父：勝忠平(千厩)
去勢 父：福之鶴
母の父：諒太郎
祖母の父：安平(大東)

移動金融店舗車 『このみん号』 運行スケジュール



取扱業務

貯金の入出金（現金払戻の限度額をお1人あたり30万円とさせていただきます）、定期積金の掛入、貯金通帳の記帳・繰越、電話料金・水道料金等の公共料金（電気料金除く）、県税・市税・町税等の納付、相談業務（取次業務内）

*運行スケジュールについては、天候その他諸事情により、予告なく変更・中止させていただく場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ
JA金融課 ☎23-3007

6月 上段：午前(10:00~11:30)、下段：午後(13:00~14:30)

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	—	室根支店	黄海支店	—
8	9	10	11	12
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	津谷川ふれあい店	室根支店	黄海支店	—
15	16	17	18	19
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	—	室根支店	黄海支店	—
22	23	24	25	26
厳美出張所	川崎出張所	奥玉市民センター	永井出張所	厳美出張所
萩荘支店	津谷川ふれあい店	室根支店	黄海支店	—
29	30			
厳美出張所	川崎出張所			
萩荘支店	—			

※旧店舗名で記載しております。

職員募集のお知らせ

健康管理ができ創造性と行動力に富み、地域農業の振興に興味と意欲あふれる方の応募をお待ちしております。

令和9年度採用JA職員募集

- 職種および募集人員**
農協業務全般（一般事務・営農指導・農業機械技術等）若干名
- 応募資格**
高校卒業以上の方で、平成7年4月2日以降に生まれた方、または専門学校、短大、大学を令和9年3月に卒業見込みの方
- 応募受付期間**
令和8年6月1日(月)～6月19日(金) 必着
- 応募書類の提出先**
〒021-0027 岩手県一関市竹山町 7-1
いわて平泉農業協同組合 総務部 人事教育課
※郵送の場合は書留とし、持ち込みの場合は土、日、祝日の受け付けはいたしません。
- 選考方法**
 - 書類選考
 - 一次試験(学科・適性・論文)(書類選考に合格した方)
 - 試験日時 令和8年7月4日(土)
受付 午前8時30分から8時45分
試験 午前9時から
 - 試験会場 いわて平泉農業協同組合 本店 3階会議室 (岩手県一関市竹山町 7-1)
 - 二次試験(口述)(一次試験に合格した方)

① 試験日時 令和8年7月4日(土)
受付 午前8時30分から8時45分
試験 午前9時から

② 試験会場 いわて平泉農業協同組合
本店 3階会議室
(岩手県一関市竹山町 7-1)

③ 二次試験(口述)(一次試験に合格した方)

6. 採用時期
令和9年4月1日

詳しくはこちら



※募集要項および応募書類は人事教育課にございます。また、ホームページからも取得できます。

お問い合わせ JA人事教育課 TEL: 0191-34-5767 FAX: 0191-21-0242
JAいわて平泉ホームページURL https://ja-iwatehiraizumi.or.jp



令和8年度JA職員募集(キャリア採用)

- 職種および募集人員**
農協業務全般（一般事務・営農指導・農業機械技術等）若干名
- 応募資格**
高校卒業以上の方で、昭和56年4月2日以降に生まれた方
- 応募受付期間**
随時
- 応募書類の提出先**
〒021-0027 岩手県一関市竹山町 7-1
いわて平泉農業協同組合 総務部 人事教育課
※郵送の場合は書留とし、持ち込みの場合は土、日、祝日の受け付けはいたしません。
- 選考方法**
 - 書類選考
 - 一次試験(適性・論文)(書類選考に合格した方)
 - 試験日時 随時
 - 試験会場 いわて平泉農業協同組合 本店 3階会議室 (岩手県一関市竹山町 7-1)
 - 二次試験(口述)(一次試験に合格した方)
- 採用時期**
随時

詳しくはこちら



無料年金相談会を開催します

JAでは、これから年金の請求手続きをされる方などを対象とした年金相談会を開催します。社会保険労務士が無料でご相談をお受けしますので、相談を希望される方はあらかじめご予約下さい。



【相談会日程】 完全予約制

開催日	場所	時間
6月3日(水)	一関中央支店	午後1時～午後7時
6月4日(木)	花泉支店	
6月5日(金)	大東支店	午前9時～午後3時
6月6日(土)	千厩支店	

※希望日時をお問い合わせの上、必ず事前予約をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ JA各支店

第12回通常総代会を開催します

- とき 令和8年5月22日(金)
午前10時から
- ところ SWS 東日本シビックホール一関 (一関文化センター) 大ホール (住所：一関市大手町 2-16)

総代の皆さまへの資料につきましては5月中旬にお届けいたします。当日は忘れずにご持参していただきますようお願い申し上げます。

また、総代会資料説明会を開催しますので、ご参加ください。

- 開催日 令和8年5月15日(金)
- 時間・場所 西地区 午前10時～ SWS 東日本シビックホール一関 (一関文化センター) 中ホール
東地区 午後2時～ 藤沢文化センター

JA'ss JAレポート営業日の変更について

6月1日(月)から下記の通り定休日を設定いたします。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

- 藤沢給油所・興田給油所
毎週 日曜日・火曜日・水曜日
- 東山給油所
毎週 日曜日

JAいわて平泉 理事会だより

次の事項について審議され、原案通り決議されました。

第2回 4月15日開催

- ▶令和8年度理事に支払う報酬の額の決定
- ▶令和8年度監事に支払う報酬の額の決定
- ▶実務精通役員候補者の推薦

休日の購買店舗営業時間変更のお知らせ

6月から営業曜日が変わりますのでお知らせいたします。
5月30日(土)・31日(日)は棚卸のため休業します。

対象店舗	～5/24	5/30・5/31	6/1～10/31
	土曜・日曜		土曜日のみ
一関地域資材センター 花泉営農経済センター 千厩営農経済センター 大東営農経済センター	8:30～12:00	休業	8:30～12:00

JA女性部は3月25日、第12回通常総会を開きました。令和8年度は「人とのつながり」や「絆」を大切に活動し、食農教育の実践や防災活動など女性部の取り組みを内外に積極的に発信して新たな仲間づくりにつなげるとともに、女性組織がJAと地域の架け橋となり、地域がより元気になる活動に取り組むことを決めました。



あいさつする小野寺キイ子部長

女性部 通信

地域がより元気になる活動を



くらしのヒント! JA事業Q&A

JAのマイカーローンについて教えてください。

JAのマイカーローンは、自動車やバイク、中古車のご購入資金だけでなく、運転免許の取得費用や車庫の建設費用、車検・修理費用などさまざまな用途に使用できます。JAでは、9月30日までJAマイカーローンキャンペーンを行っており、お取引に応じて金利を優遇します。また、インターネットを利用すると24時間仮申し込みが可能です。詳しくは、JA各支店までお問い合わせください。



千厩支店 菅原 美穂

発信! 情報 ぶらざ

あぐりジャーナル

“つくる”をテーマにJA役員が思いを綴ります



代表理事専務 那須 元一 (東山)

持続可能な地域農業の実現に向けて

田植え最盛期を迎え、組合員の皆さまにおかれましては、忙しい日々をお過ごしのことと思います。今年は桜の開花も早まるなど、温暖化が加速しているように感じます。既に真夏日並みの気温を記録している地域もあり、当地域でも平年より気温の高い日が続いているため、今年も高温・暑熱対策の指導を徹底したいと思います。さて、現在の農業情勢は、担い手の高齢化と後継者不足が大きな問題です。また、生産コストの高止まりや気候変動による災害が、農畜産物の生産や農家の経営に大きな影響を与えています。当JAとしても、組合員の皆さまと課題を

共有し、持続可能な地域農業の実現に向け、実効性ある対策を進めてまいります。そのような中、食料システム法が4月から施行されました。米のコスト指標が提示されていますが、他品目も含めた持続的な食料の安定供給に向け、適正価格での取引を望みます。また、当JAは今年度から第5次中期経営計画に取り組みます。新たな重点施策を掲げ、自己改革を推進し、より利用しやすく、信頼されるJAを目指し、事業運営の見直しを進めてまいりますので、組合員皆さまのより一層のご支援、ご協力をお願いします。

ケアコンシェルジュ



ばっつきやはどこな ばっつきや掘りゲームをしました。高得点の大きなばっつきやを狙って、100点満点を目指しました。



花も団子も楽しんで

一閑遊水地記念緑地公園でお花見をしました。満開の桜とおいしくみたら団子を楽しみました。



皆さんの声 お届けします!

今年はずえを植えますが、あなたもチャレンジ!家庭菜園の説明に沿って、やってみます。去年は自己流でつまらなすぎませんでした。収穫量アップにチャレンジです!

川崎町 Sさん (60代)

桜の名所巡り、楽しいですね。交通事故には気を付けます!

赤荻 Kさん (70代)

桜の季節、いいですね。咲いている姿も、花吹雪も、薄いピンク色も。桜大好きです。

大東町 Sさん (60代)

5000円玉貯金をしていて貯まったお金で先月大船渡温泉に泊まってきました。今度はこの温泉に?と楽しみにコツコツためています。

山目 Mさん (60代)

じいちゃんの作った野菜おいしいね」と言ってくれた孫も今年から大学生になり、家を離れました。野菜作りも気が乗りますが、帰省の際を思いながら頑張る作付けしようかと思っています。

東山町 Sさん (80代)

クロスワードパズル

1	7	10		17	20
2				15	
3			13		
4	8	11		18	
5		12		19	21
6					

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は?

ミツバキ

- 端午の節句に風呂の湯へ入れます
- 変わるや寝つけない人もいます
- 岩の多い海岸のこと
- 現在の元号です
- アルファベットの14番目
- 安、実、宝に共通の部首
- 漢字では羊歯などと書く植物
- 車のこと。ナビ
- つくね、ハツ、砂肝といえは
- キャッチャーともいいます
- ゴルフクラブの種類のひとつ
- 童謡「ぶんぶんぶん」で飛ぶもの
- ウサギのものは長め

タテのカギ

- 女性同士のきょうだい
- トーションズをはいて踊ります
- 風呂場でお湯をためるところ
- 太古から人間に飼われている動物
- 表の反対側
- 端午の節句に餅を食べた
- 日本三大祭りのひとつ、祭。東京で5月に
- おこなわれます
- ベース、アット
- 釣りがじつと見るもの
- 川を渡るためにかけます
- そろそろ行かないと!
- タイム
- Sが小ならMは
- 5月4日は
- 国民の祝日です

正解者の中から10名に図書カード(500円分)をプレゼントします。〒021-0027 一関市竹山町7-1 JAいわて平泉 総合企画課 まで

ご応募は FAX (21-0242)、Eメールでも受け付けます。Eメールアドレス kosheru@ja-iwatehirazumi.or.jp

- 締切日 令和8年5月27日(水)(当日消印有効)
皆さまからのご応募お待ちしております。
当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。
- クイズの答え
 - 身近な話題や本誌へ一言
 - あなたの住所、氏名、年齢

※ご応募いただいた個人情報は、当選者へのプレゼント発送に利用させていただきます。また、お寄せいただいた身近な話題は「皆さんの声お届けします!」コーナーに掲載させていただく場合があります。

4月号の答えは「ハナフキ」でした。

ア	ブ	ラ	ナ	エ
サ	イ	ク	セ	フ
リ	カ	キ	ヨ	ウ
ハ	ミ	シ	ク	ダ
ナ	ニ	ン	ク	ダ
ツ	リ	ヤ	リ	ナ



第145話 まんが:じっく

お米栽培の一年

～田おこし、代かき、田植え～



主人公の竹山はなさんは、現在小学5年生。JAでは、小学5年生を中心に、稲作の体験学習など食農教育を支援しています。今月は、4月に種をまいてすすく育った苗を使って、田植えに挑戦です。



編集後記

▽5月中旬ごろになると管内の小学校では田植えの体験が行われ、どんなになりながら一生涯懸命に田植えをする姿を毎年取材しています。漫画「もぐもぐ」では、4月号から食農事業をテーマに、今年はお米について紹介していきます。皆さんに楽しみながら読んでいただけるように、また、小学生にも分かりやすい漫画にしていきたいと思っています。(阿部)

▽ゴールデンウィークが明け、なんだか気分が落ち込みがち...という方、少なくないのではないのでしょうか。もしかししたら、その正体は「五月病」かも知れません。環境の変化などによりストレスや疲労が蓄積し、症状として表れ、放置すると適応障害やうつ病に進行することもあるそうです。春の農繁期を乗り切るためにも、心身共に健康に過ごしてほしいと思います。(熊谷)

